プラザからのお知らせ

9・10月開催報告

2022年度 第2回 交流ゼミナール

「認知症の人と家族の支援」
～誰もがいつかは通る道～

10月9日（日）13:30～15:00

参加者

会場	9名
オンライン	8名

たくさくんのご参加ありがとうございました

講師

公益社団法人
認知症の人と家族の会
小池 美鈴さん

絵手紙展

開催期間　2022年9月30日（金）
~~10月20日（木）~~
開催延長
11月12日（土）まで!!

重要なお知らせ

会議室の利用人数の制限が解除となります

適用：2022年11月7日（月）ご利用分から

令和4年9月8日より
「新型コロナウイルス感染症対策の
基本的対処方針」が一部変更されたことを踏まえ
佐賀市市民活動プラザでも
会議室の利用人数制限を解除いたします。

※詳しくはHPをご覧ください。

階	会議室	定員	最大
4階	大会議室G	36人程度	45人
	小会議室A	12人程度	18人
7階	小会議室B	12人程度	15人
	小会議室C	12人程度	15人
	中会議室D	18人程度	21人
	中会議室E	18人程度	21人
	中会議室F	18人程度	21人

階	会議室	定員	最大
4階	A・G両室	48人程度	63人
7階	B・C両室	24人程度	30人
	D・E両室	36人程度	42人
	—	—	—

佐賀市市民活動プラザ 佐賀市白山二丁目 1-12 佐賀商工ビル7階
TEL ：0952-40-2002
FAX ：0952-40-2011
E-mail：plaza@tsunasaga.jp
開館時間：9時～22時
（休館日：12/29～翌年1/3）

HP　Facebook　Instagram

佐賀市市民活動プラザ広報誌

さがのわ

からひろげよう市民活動の

佐賀県学生献血推進協議会～ちっち～
TEL：0952-32-1011
（赤十字血液センター）
sagakenketu@gmail.com

定例会　第1・3水曜日　15:00～16:50
　　第2・4木曜日　16:30～18:20

団体のTwitterはこちら

2022
11・12月号

佐賀県学生献血推進協議会～ちっち～

設立の経緯やキッカケについて教えてください。

弓：はい。始まりは、昭和 35 年頃に「青少年赤十字奉仕団」という団体が設立され、献血の呼びかけをされていたそうです。昭和３７年頃になると、東京８大学の有志達が「日本赤十字献血学生連盟」を立ち上げられ、各都道府県に広がり、３０年程前に佐賀県にも学生ボランティア団体として設立されました。

お２人が団体へ入ろうと思ったキッカケって何だったんですか？

弓：僕は高校の頃からずっとボランティア活動をしてみたいと思っていました。入学してサークルを探しているときに、ちょうど団体の活動の一環である、春の学内献血をやっていました。そこでボランティアメンバーを募集していると前の会長に紹介してもらい、加入しました。

山野さんはどういったキッカケだったんですか？

山：僕も同じように、高校生の時からボランティア活動をしており、興味があったので加入しました。

そうなんですね。素晴らしい心持ちですね。現在は、佐賀大学の学生達だけで活動をされているんですか？

弓：そうなんです。現在の会員は佐賀大学の学生のみで、１年生が５人、２年生が４人で、３年生と４年生が１人づつ、合計 11 人で活動しています。以前は、西九州大学の学生も入っていたみたいなんですが、僕たちが入ったときには佐賀大学の学生しかいませんでした。

この取材を機に、西九州大学の学生にも加入してほしいですね。

弓：そうですね。各都道府県に学生ボランティア団体があるんですが、九州の学生団体の中でも会員数は少ないです。そもそも佐賀県は大学の数が少なく、佐賀大学と西九州大学しかありませんので。やはり、活動人数が多いところはイベントなども多彩ですし、参考になりますね。

各都道府県で開催されているイベントは違うんですね。佐賀ではどんな活動をされているんですか？

弓：僕たちの活動としては、毎年佐賀大学で春と冬に行われる学内献血、商業施設などでの献血の呼びかけを行っています。そのために、毎週定例会を開き、イベントの際に使用するポスター作製や、献血にご協力いただいた方にお渡しするものを話し合って袋詰めなど行っています。

毎週定例会をされているんですね。活動を行っている中、コロナ禍で影響を受けている事って何かありますか？

山：はい。活動もそうですが、献血自体に大きな影響を受けています。コロナが流行し始めて、団体献血が実施できなくなり、その結果、献血者数が減少してしまい、血液の安定的な確保が難しくなってしまいました。全体的に献血者数は減っていますが、もともと献血への関心や興味をあまり持っている方が少ない 10 代の献血者数が、ガクっと減ってしまいました。令和元年度と令和 3 年度の献血者数を比べると、10 代が△55,214 人、20 ～ 24 歳が△16,789 人、25 ～ 29 歳が△3,421 人となっています。もちろん、コロナ禍の影響は大きいですが、災害が発生した際も影響は大きくなります。けが人が多く出た場合などたくさんの血液が必要になってきますし、献血に行ける人は更に少なくなります。献血はコロナだけではなく、本当にいろんな影響を受けています。

本当に色々な影響を受けているんですね。ちなみに、献血に行ける人の条件というのはありますか？

山：はい。献血の条件としては、男女関係なく 16 歳から 69 歳までとなっています。その他に、いくつか確認しないといけない項目などもありますので、実施する前に聞き取りなど行っています。まずはお気軽にご相談いただければ大丈夫です。

たくさんの方にご協力いただけるといいですね。活動の中で、他団体との交流や連携事業など何かされていますか？

弓：連携事業というか、イベントの際には昔からライオンズクラブさんがご協力してくださいます。僕たちが用意した景品とは別に、パンやジュースなどを用意していただいて、呼びかけも一緒にしてくださいます。あとは、他県の学生献血推進協議会との交流ですね。

他県の学生献血推進協議会の方たちですか？

弓：はい。九州ブロックで、半年に１回オンラインで会議をしています。コロナが流行する前は、直接会って交流していたみたいなんですが、現在は全てオンラインになってしまいました。オンライン会議では、今までの活動の反省だったり、SNS などの進捗状況や今後の課題など意見交換をしています。

コロナが落ち着いたら、ぜひ対面で交流したいですね！今後、挑戦してみたいことなどはありますか？

弓：そうですね。いつもの活動だと献血バスに乗ってイベント会場に行き、献血の呼びかけを行っているんですが、献血をメインとしたイベントっていうのを開催してみたいですね。献血への呼びかけはもちろん、献血についてちょっとした基礎知識を知ってもらえるような、ふれあいイベントみたいにできたらいいなと思っています。

とても良い企画ですね！ぜひ実現していただきたいです。反対に困っている事などはありますか？

弓：はい。困っている事というか、大変だなと思う事はあって・・・（笑）。僕たち２年生が、会長、副会長をやっているんですが、実際任されたのは１年生の２月だったんです。その時もコロナで活動が出来ていなくて、大学でも部活動やサークルの活動が禁止されていました。イベントへ同行して呼びかけに行く機会も減っていましたし、活動の経験不足というところが大変でした。先ほどお話した通り、九州の学生献血推進協議会の方たちと会議をする際も、他県は人数も多いし、規模も大きいので、お話される内容などを聞くと、「もっと頑張らないと・・・」と感じてしまいますね。

コロナ禍での影響は本当に大きいですね。

弓：そうですね。今は SNS での広報を頑張っていますが、僕たちが発信しても佐賀大学の中でしか届かない事が多いと感じます。行動範囲も、僕たちが動けるのが佐賀大学近辺なので、西九州大学の方にももっと知ってもらえるように頑張りたいですね。

そうですね。会員を増やしてもっと活動できるようにしていきたいですね！では会長から、今後の目標について教えてください。

弓：はい。やはり、今後の目標はより多くの方に献血のことを知ってもらい、献血に協力していただける方を増やしたいです。課題として挙がっているのは 10 代、20 代の若者の献血者数を増やすことです。そのためには、歳の近い僕たち学生ボランティアが、たくさん活動し呼びかけることで、献血の良さを知ってもらうキッカケにつながると思っています。そのためにも、イベントの際には頑張って呼びかけをしたり、色々な方法で発信していきたいと思っています。

とても大切ですね。では、副会長からもお願いします。

山：はい。僕はもっと団体を大きくしたいと思っています。昔のアルバムなどを見ると、会員も 30 ～ 40 名近くいて楽しそうだし、盛り上がっていたんだろうなと感じました。イベントの際も大勢で呼びかけをしたら気に留めてもらえるし、何より多くの方に献血を知ってもらえると思いますので、そういったところも目標に、これからも頑張りたいと思っています。